

# 石と波紋

2014年  
8月8日(金)  
19:30 start (19:00 open)  
¥1,800 (door ¥2,000)



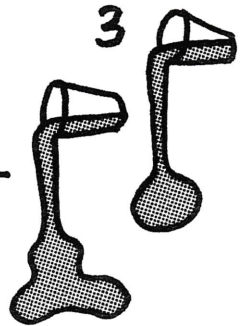
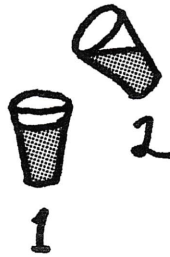
# Fringe

RAFTにて  
(中野区中野 1-4-4-1F)  
<http://raftweb.info/>



## [about 石と波紋]

多くのアーティストは、自らが表現したもの(=作品)で人々の心や感覚、さらには社会全体に何かしらの変化を起こすことを願うのではないのでしょうか。「石と波紋」という企画は、「表現のあり方」を探る場です。ここから投げられた表現がどのような波紋を広げるのか…どうぞお立ち会いください。 RAFT



## 木下 毅人

無意識下に押し込められてしまった人間の根源的衝動、原初の叫びを表出させ、それらをカットアップ、コラージュ、再構成し、観る者の意識に普段、上らない感覚を呼び起こす。

## 佐々木すーじん

救いを求める人は滑稽である。切実に滑稽である。どうしようもなくミジメで格好が悪い。風にさらされてもする他、仕方がない。

## 篠原 健

自分一人の声と身体表現による即興作品です。主に自分の意識的な部分での内側と外側の境界線に着目します。基本的に建造的な構えをみせますが、ゴールや終着点は特になく、己の磁場を確保することに固執します。

## 松本 雄介

人生は選択の連続。人は常に何かを選択しなければなりません。忠臣蔵で有名な大石内蔵助が討ち入りという選択に至ったプロセスにはどのような悩みがあったのか？

